別紙

令和４年度
全国学力・学習状況調査
指導方法等の改善計画

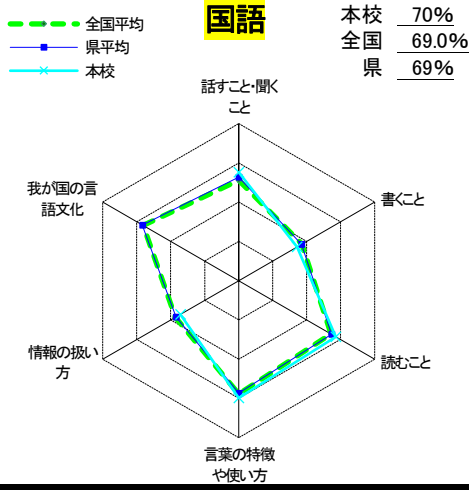
呉市立片山中学校
（片山中学校区）

全国平均値との差

	国語	数学	理科
呉市教育振興基本計画〈指標〉	＋５．０	＋５．０	
令和８年度	－	－	－
令和７年度	－	－	－
令和６年度	－	－	－
令和５年度	－	－	－
令和４年度	＋１．０	＋３．６	＋２．７

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組　　◎･･･各学校　◇･･･中学校区

国語



本校　70%
全国　69.0%
県　69%

重点課題

◎自分の考えが伝わる文章となるように，根拠を明確にして書くことに課題がある。（設問２三）【書くこと】（全国平均との差-3.6）
◇自分の考えを書くことに課題がある。

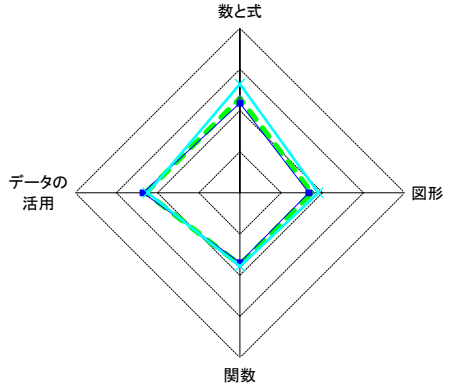
改善の方策

◎自分の考えを書くために，与えられた条件を基にして書くように指導する。また，課題文がある時は，自分の考えに合わせて，文章を引用して書く学習活動を設定する。
◇文章を書く際には，与えられた条件を満たして書くように指導する。

検証

◎全国学力（設問２三の類似問題）学年末テストの問題(第３学年，１月）目標５０％→結果５１％
◇学年末テストの活用問題目標５０％以上（第１．第２学年）
→１年５５％，２年６６％

数学



本校　55%
全国　51.4%
県　50%

重点課題

◎◇与えられた図から，データの個数と散らばりの程度について，適切に読みとったり，正しく判断したりすることに課題がある。【データの活用】（全国平均との差-10.2）

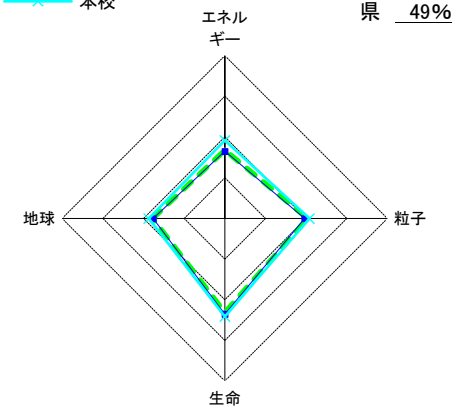
改善の方策

◎身のまわりの複数のデータを用いて特徴や傾向を読み取り，表やグラフのどの部分に着目したかを数学的な表現を用いて説明する活動を増やしていく。
◇数学的な表現を用いて説明する活動を増やしていく。

検証

◎◇全国学力（設問７(2)の資料の活用に関する問題の類似問題）学年末テストの問題(第３学年，１月)目標５０％→結果５６％

理科



本校　52%
全国　49.3%
県　49%

重点課題

◎グラフから適切に読み取ったデータを，他の事象と関連付けて適切な選択肢を選んだり，課題に正対した考察を行うために適切に処理されたグラフを選択することに課題がある。【資料の活用】（全国平均との差-14.6）
◇資料を活用して答える問題に課題がある。

改善の方策

◎原理や法則などの知識を確実に定着させるための工夫をさらに施すとともに，それらを表やグラフを用いて表したり，特徴を読み取ったりする活動を設定する。
◇知識，技能を活用する問題に取り組む

検証

◎◇全国学力（設問５（２）資料の活用に関する問題の類似問題）学年末テストの問題（第３学年，１月）目標５０％→結果５４％

【来年度に向けて】
活用力を問う問題の正答率を高めるため既習事項の定着・活用を図り，どの教科等においても思考を深めて表現させる授業づくりを行う。その際，学び合いの場を中心に，根拠を明確にして自分の考えを述べたり他者の意見と比較したりするなどさせ，論理的思考力を育成していく。